

04/12

(日)

14:00

宝生会
月並能

宝生会の月例能として始まった演能会で、中堅以上の能楽師の厳しい技能の鍛錬の場です。

八島 やしま

14:00- (90)

シテ 佐野 登

ツレ 渡邊 茂人

間 山本 則重

ワキ 工藤 和哉

笛 藤田朝太郎

ワキツレ 大日方 寛

小鼓 幸 信吾

ノ 野口 能弘

大鼓 安福 光雄



「義経が主人公として登場する唯一の演目。仕方話あり修羅道の有様を舞う場面ありの見応えある一番です。『惜しむは名のため惜しまぬは一命』。この曲の大事なメッセージを伝えられればと思います」

(さの のぼる) 昭和35年生まれ、シテ方宝生流佐野萌の甥。18代宗家宝生英雄に師事。同門会「芝宝会」主宰。



かどころ

戦には勝っても、
修羅道に落ちた義経の虚無

漁翁姿の前シテが語る八島の合戦の有り様。後シテ義経の霊が見せる弓流し。勝利の栄光の裏にある索漠とした虚しさど修羅の苦患。

狂言「地蔵舞」 山本東次郎

15:30-

百万 ひやくまん

16:25- (60)

シテ 野月 聡

子方 出雲路 啓

笛 寺井久八郎

ワキ 野口 敦弘

小鼓 鳥山 直也

間 山本 則秀

大鼓 亀井 実

太鼓 林 雄一郎



「花の雲に包まれた春の嵯峨野。群衆の中、生き別れた我が子を探す狂女の明暗。いつのまにか能楽堂が境内、観客が群衆になる空間。そこに母性や視線を感じられるように」

(のづき さとし) 昭和45年生まれ。平成元年初舞台「土蜘蛛」トモ。平成7年初シテ「竹生島」。同門会「聡雲会」主宰。宝生流若手グループ「嶺花会」同人。



かどころ

物狂いの舞を舞いつつ
わが子を探す母の心

嵯峨清涼寺の大念仏に集まった群衆の中で、わが子を探しながら舞い狂う母。車ノ段、笹ノ段、クセなど、見どころが満載。